

# 小山田中部地区まちビジョン準備会

## 議事概要

日時 2022年10月14日（金）午後6時30分～午後9時

場所 大善倶楽部

### 参加者

準備会	市民 10名
町田市	地区街づくり課 2名、農業振興課 1名
街づくりアドバイザー	2名

### 内容

#### 1・具体的な活動のアイデア出しについて

アドバイザーより資料の説明が行われた。

（主な意見）

- ・（市民）目標について、「地域活性化」は大切な視点だと考える。次の世代にとっても魅力的な地域となっているということを示せるとよい。また、小山田中部地区ということがわかるように、もう少し個性やインパクトのある目標をかかげられるとよい。リード文でハード整備にもふれたい。
- ・（市民）小田急多摩線延伸新駅周辺のにぎわい創出や機運醸成も重要なことだろう。
- ・（市民）豊かな自然環境を土地の所有者にとっても効果的に活用していく活動を記載したい。
- ・（市民）市有地・私有地にかかわらず、木材（竹材含む）を活用して地域内の経済を循環させていくことは今後重要な活動になると考えている。そのための搬出路の整備などは、市と協働して推進していけるとよい。
- ・（市民）農産物の共同販売所やエリアを周遊する散策路、交流回遊拠点の整備については地域内外の人が活用していくことを想定して進めていくべきであり、地域住民として考えていきたい。
- ・（市民）前回の意見でもあったが、里山環境への入り口として、拠点となる施設は630号線沿線に誘致し、既存の活動と連携してにぎわい創出につなげていけるとよい。
- ・（市民）都市と自然が溶け合ったまちづくりが重要である。拠点については、近隣住民が地域の歴史文化等の魅力を再確認し、まちの誇りを醸成していく機能も重要だと考えている。
- ・（市民）木材は最新の技術を用いた様々な活用方法がある。町田の木材を有効に活用できるとよい。
- ・（市民）エリアを周遊できるようマップやサインを作成し、来訪者が里山環境を楽しめるような活動を行えるとよい。フットパスともうまく連携できるとよい。

- ・(市民) スポーツの拠点を誘致するなど、これまでとは異なる視点の取組も考えていけるとよい。
- ・(市民) 1年を通して里山環境を楽しめるよう、植樹等を積極的に行っていけるとよい。
- ・(市民) 広域的に見た小山田の里山環境の価値が地域の誇りとなるように、流域治水といった考えからもビジョンに記載できるとよい。
- ・(市民) 学校の統廃合の話もあるが、大切なのは人である。人が関わり続けられる里山環境を将来にわたって持続可能なものにしていくためのビジョンであるべきである。
- ・(アドバイザー) 里山環境をグリーンインフラと捉えるなど、国や都の動きも注視しながら、小山田中部地区ならではのまちビジョンとしていけるよう、アドバイザーとして役目を果たしたい。
- ・(市) ご意見をふまえてビジョンの方向性を整理した案をあらためて提示する。

## 2・今後の進め方

- ・まちビジョン交流会は11月6日(日)16:00~17:00で開催することとなった。